



# 新しい朝

府中市立府中第十中学校  
学校だより No.4  
令和 2年 6月 15日  
校長 芹澤 敏光

## 主役は生徒

校長 芹澤 敏光

梅雨入りを迎えすっきりとしない日が続くようになりましたが、臨時休業期間中は保護者の皆様には、様々なご対応をいただき誠にありがとうございました。新たな日常への対応が求められる中で、たくさんのご苦労があったことと思います。

学校には生徒たちの笑顔がようやく戻ってきました。学校の再開を喜び素直な笑顔、登校してくるときの元気な挨拶、教室で真剣に授業を受けている姿等に接すると、学校の主役は生徒たちであると改めて実感します。この生徒たちの成長をしっかりと支えていこうと、学校全体で決意を新たにしているところです。

さて通常であれば3月から4月の年度の代わりで学校や社会は大きな節目を迎えますが、今年は随分と違う形となりました。本日より毎日3学年の生徒がそろい、給食も始まり、ほぼ通常に近い教育活動が行われるようになりましたので、そのような意味では、本校にとって本日が実質的な新年度のスタートになると思います。そのスタートに当たって生徒のみなさんには、主役が主役としてさらに輝くようになることを期待します。それはただ単に目立つ行動をとって下さいということではありません。学校行事の見直しなどがある中で、今後の学校生活で自然と存在感を示せるようになってほしいのです。よく一流のスポーツ選手や俳優の方々は、自然とにじみ出るオーラがあるということが言われます。その背景には人知れず血のにじむような数えきれないくらいの努力があったり、他の人より何十倍、何百倍もの演技の積み重ねがあったりするものです。生徒のみなさんが存在感を示し、それぞれが第十中学校を支える柱となるためには、その時々状況の中で全力を尽くすことが何より大切だと思います。そしてそうすることが、今年度第十中学校が置かれている状況に確実に乗り越えていくことにつながると考えるからです。今年度は特にみなさん一人一人の輝きが不可欠です。

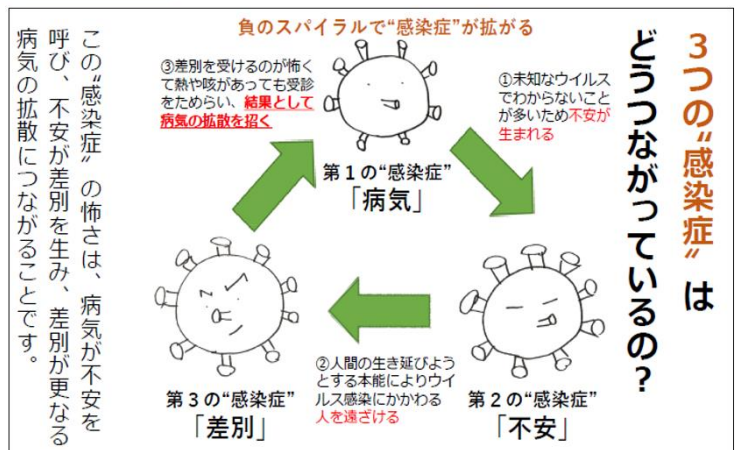
これから生徒のみなさんそして保護者・地域の方々とも連携して、学校全体で一步一步着実に前に進んでいきましょう。

## 6月はふれあい月間です

東京都教育委員会では、6月を「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」と定めています。本校でも、生徒へのアンケートを実施し必要な生徒への面談や、スクールカウンセラーによる全員面接（一年）また、未然防止のため、SOSの出し方に関する教育指導、道徳授業、学級活動など、学校の教育活動のあらゆる場面を通して、いじめを生まないあたたかな心あふれる学校づくりのための指導をしております。今回の新型コロナウイルス感染症では、世界中で自分自身の不安と外から入ってくる不安から、一部心ない言動や誹謗中傷がありました。その一方で医療関係者の方々へ拍手をおくるなど様々な形で応援する姿やだれかのために役に立とうという姿もありました。本校の教育目標の一つに「思いやる」（利他心。自他ともに大切にする生徒）があります。思いやりのある言葉や行動は、関係している人たちだけでなく、周りにいる多くの人たちの心も明るく温かい気持ちにさせます。相手を元気づけたり勇気づけたり、慰めたり励ましたりする言葉や行動を心がけて生活していきたいものです。ご家庭の会話の中にも「やさしい心遣い」について話題にいただければと思います。

保護者の皆様へ

お子様と一緒に読んでください。



日本赤十字社HP「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」より抜粋

発行者：東京都教職員研修センター研修部教育開発課

## 地域貢献プロジェクト委員会

今年度も松本良幸さんに畑をお借りして活動をしていきます。5月29日（金）には、プロジェクト委員会の先生たちでだいこんやキュウリの収穫をさせていただきました。今後、生徒たちと一緒に活動できるようになるのが楽しみです。



## 分散登校の様子

\*6月15日（月）からは通常登校となります。

昇降口で健康観察と手指消毒



1クラス2グループに、  
分けた少人数の授業



テントを張って  
熱中症対策



